

# OBSによって再決定された震源分布とその周辺の構造

東北大・東大・気象庁・海洋研究開発機構

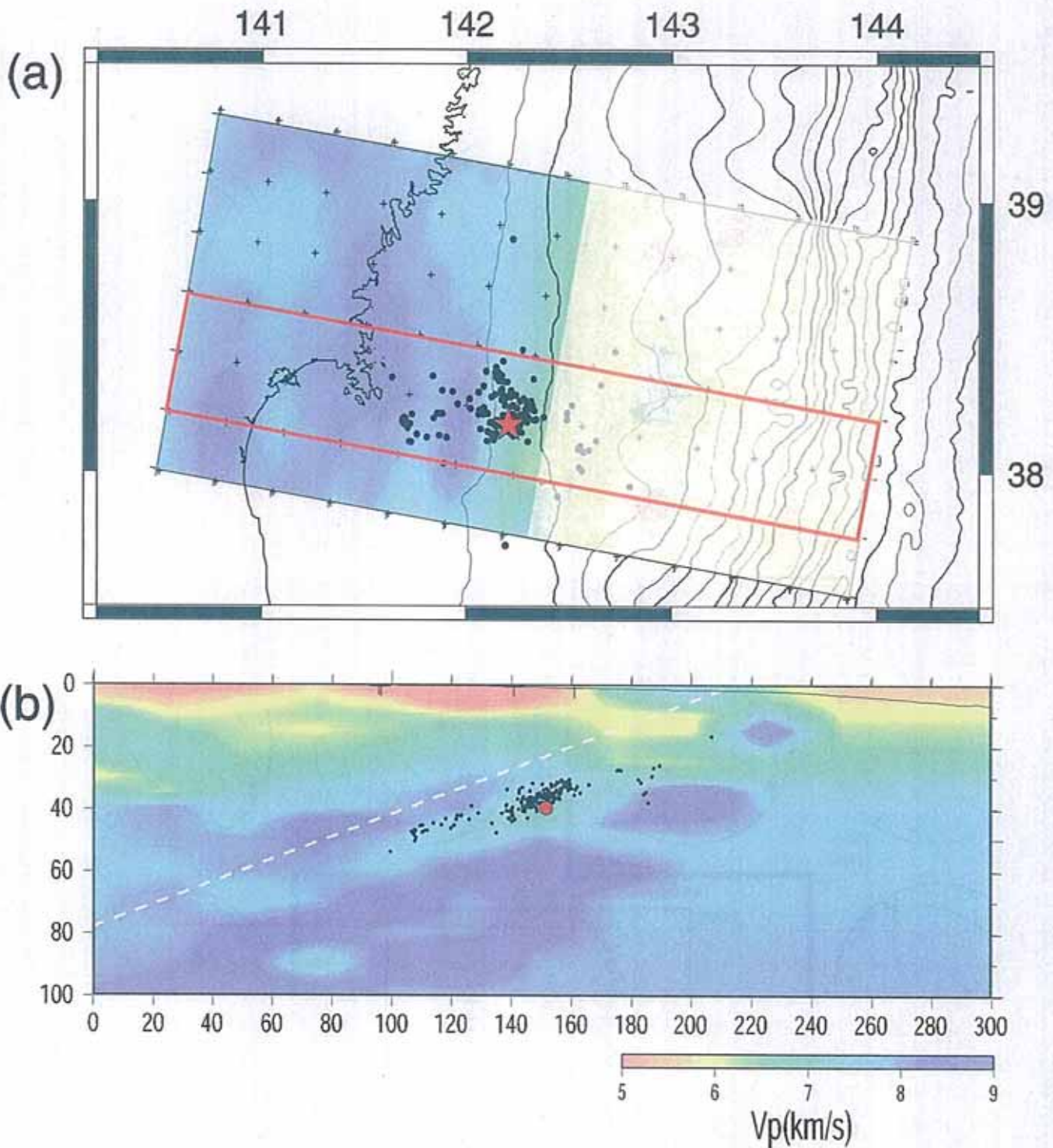


図10. 海底地震計のデータを加えて再決定した2005年8月16日の宮城県沖地震 (M7.2) の本震および余震の震源分布. 余震は8月19日まで発生した気象庁一元化カタログに掲載されているもの. 震源決定の際の速度構造には, この地域で得られている3次元速度構造モデル (Yamamoto et al., 2005) を用いた. (a) 震央分布. 赤星は本震の震央. 背景のカラースケールは下に示した断面図中の白破線に沿った面でのVp分布を水平面に投影したもの. 赤枠は断面図の位置. (b) 震源深さを示す鉛直断面図. 赤丸が本震の震源. カラースケールで対応する断面におけるVp分布を示す.